

一般社団法人日本解剖学会 2024(令和6)年度第3回常務理事会議事録

日 時：2024(令和6)年6月29日(土) 13:00～16:45

場 所：一般財団法人口腔保健協会 3階 302会議室 (Web会議併催)

出席者：寺田 純雄 (理事長)、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一 (以上、常務理事)、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀 (以上、常任幹事)、伊藤 杏佳、中村 聡 (以上、口腔保健協会) (下線はWeb参加)

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- ・ 2024(令和6)年度第2回常務理事会 (2024(令和6)年3月20日開催) 議事録 (案)
- ・ 2024(令和6)年度第1回理事会 (2024(令和6)年3月20日開催) 議事録 (案)
- ・ 2024(令和6)年度定時社員総会 (2024(令和6)年3月22日開催) 議事録 (案)

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

- ・ 令和6年3月分
入会者 正会員 4名、学生会員 6名
退会者 正会員 11名、学生会員 3名
- ・ 令和6年4月分
入会者 正会員 4名、学生会員 1名
退会者 正会員 3名、学生会員 2名、永年会員 1名
- ・ 令和6年5月分
入会者 正会員 3名
退会者 正会員 3名、永年会員 1名
- ・ 逝去会員 3名
木村 忠直 氏 (静岡県立大・元教授／永年会員) 令和3年1月2日逝去 (満81歳)
井上 芳郎 氏 (北海道大・名誉教授／元理事) 令和6年5月11日逝去 (満84歳)
諏訪 文彦 氏 (大阪歯大・名誉教授／永年会員) 令和6年5月15日逝去 (満76歳)
- ・ 新規就任教授 2名
竹林 浩秀 氏 (京都大・医・附属総合解剖センター・教授 令和6年4月1日就任)
田所 治 氏 (松本歯大・解剖学・教授 令和6年4月1日就任)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会事務局で保管、ホームページ掲載などの対応を行っていることが報告された。

- ・ 通知、依頼：生物科学学会連合より「【審議】動物実験に関しての要望」 他99件
- ・ 書籍、定期通信 他：(一社)日本医学会連合より「創立10周年記念誌「一般社団法人日本医学会連合 の設立を振り返る」」 他17件

(3) 2024(令和6)年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき開催予定が報告された。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会 (編集委員会、認定解剖組織技術者資格審査委員会、解剖体委員会、解剖学用語委員会、海外交流委員会、教育委員会、若手育成委員会、アウトリーチ委員会、学術委員会、医療専門職教育委員会、倫理委員会/利益相反委員会、ASI編集委員会、ダイバーシティ推進委員会) の議事が報告された。

(5) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会の第22期第2回運営委員会 (2024年3月25日

開催、和氣弘明ダイバーシティ推進委員長出席）の議事が報告された。

(6) 「若手研究者の会」報告について

資料に基づき、2024年春の学校の事後アンケート結果、解剖セミナー旅費支援事業の応募状況、APPW2025 (第102回日本生理学会大会、第98回日本薬理学会年会との3学会合同大会、Anatomy-Physiology-Pharmacology Week 2025) における若手の会企画の準備状況などが報告された。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、ASI99巻3号が6月14日に発送されたこと、9月に解剖学雑誌99巻2号とASI99巻4号が刊行予定であることについて報告された。

(2) その他

特になし

3. 企画・渉外報告

(1) 2024(令和6)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について ……

資料に基づき、募集の状況が報告された。奨励賞の募集情報の周知は、今年度より、解剖学雑誌での公募情報の掲載を取りやめ、ホームページとOHASYSからの配信のみとしたことも報告された。

(2) 2024(令和6)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、実施要領が報告された。また、願書の提出期限を6月28日（土）としており、出願は認定一級解剖技術者0名、認定一級細胞組織技術者1名であった。

(3) 二級認定技術者審査結果について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会における審査の結果、5名の受験者（二級解剖・細胞組織技術者3名、二級解剖技術者2名）が合格と判定されたことが報告された。

(4) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会終了報告

第129回総会・全国学術集会（会頭：琉球大・高山千利氏、会期：2024年3月21日～23日）が予定どおり終了したことが報告された。

(5) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、第130回総会・全国学術集会（会頭：渡辺雅彦氏、会期：2025年3月17日～19日）はAPPW2025として開催されることが報告された。また、プレナリーレクチャー、特別講演の演者が報告された。

(6) 2028(令和10)年度第133回総会・全国学術集会開催校募集について

資料に基づき、応募の状況が報告された。

(7) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、第8回研究倫理教育研修会（2024年5月7日開催、北田容章倫理/利益相反委員出席）および日本医学会連合2024年度定時社員総会（2024年6月14日開催、大和田常務理事出席）の議事が報告された。

(8) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、生物科学連合第29回定例会議（2024年4月25日開催、大和田常務理事

出席)および「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書」についてのオンライン意見交換会(2024年6月4日開催、大和田常務理事出席)の議事が報告された。また、同要望書(案)の内容についても報告され、解剖学会として賛同することを確認した。

(9) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、日本脳科学関連学会連合としての「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書(生物科学連合)」への対応について報告された。

(10) 国際渉外関係について(KAA、APICA、IFAA等)

資料に基づき、以下が報告された。

- ・ KAA(韓国解剖学会)：

次回の相互交流はJAA-KAA国際交流協定に基づき、2025年となり、JAAからKAAへの派遣年となる。

- ・ APICA(アジアパシフィック国際解剖学会議)：

2027年の日本での開催の可否について検討している。

- ・ IFAA(国際解剖学会議)：

第21回IFAA(2024年9月5日～8日開催、韓国)の開催概要

(11) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、日本外科学会CST推進委員会から「篤志献体制度についての新聞紙上での座談会」を日本解剖学会と共催したいとの申し出があったことが報告された。本座談会にかかる費用は企業の支援に基づくことを前提としていたため、解剖学会としては現時点での共催には賛同できない旨、返答したことも報告された。

(12) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 2024(令和6)年度中間決算書について

資料に基づき、2024(令和6)年度中間決算書(1月1日～5月31日)について報告された。国際交流等を通じて若手会員を中心に活性化する方策などが話し合われ、今後も継続して審議することが確認された。

(2) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) CST関連対応

資料に基づき、第124回日本外科学会定期学術集会・シンポジウム「CSTの新展開：法人化に向けて」(2024年4月20日開催)における寺田純雄理事長および八木沼洋行篤志解剖連合会前会長の発表内容について報告された。また、AMED医療機器等の開発・実用化促進のためのガイドライン策定事業の「医療機器開発におけるカダバースタディー推進のためのワークショップ」(6月7日開催)および、寺田理事長が発表予定のCST研究会(8月17日開催、京都)について報告があった。

(2) その他

特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について(庶務)

資料に基づき、令和6年3月1日から5月31日まで入会申請のあった一般会員11名、学生会員7名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。

2. 第130回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査について(企画渉外)

資料に基づき、第130回総会・全国学術集会におけるシンポジウムの開催申請（2件）について審議を行い、助成することが承認された。

3. 旅費規程の見直しについて（事務局）

資料に基づき、旅費規程の見直しについて検討を行った。近年の物価高騰に対応するための規定改正についてメール審議を行うことが承認された。

4. その他

特になし。

次回常務理事会 9月21日（土）13:00-16:00@口腔保健協会302会議室